

第1回 津市大門・丸之内地区 未来ビジョン策定委員会



開催日時 令和4年5月26日（木）午後4時00分～午後5時30分

開催場所 津市センターパレスホール

出席者 【津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会委員】

辻 正敏、岡田 正幸、若原 暁、茂知野 公宏、三宅 公子、黒田 麗代、
寺家 光弘、尾崎 晋、豊田 耕造、草深 泰幸、松田 尚之、辻 伸久、
川口 範一、神谷 昭彦、岩田 英里、奥田 博貴、平西 明日香、藤原 弘典、
古澤 忠士、宮田 雅司、福森 稔

【事務局】

都市計画部次長 草深 寿雄、商工観光部次長 小柴 勝司
都市政策課長 酒井 亮、商業振興労政課長 山口 尚利
都市政策課都市整備・新都心軸担当主幹 畠山 和之
商業振興労政課商業振興担当主幹 西出 智康
都市政策課都市整備・新都心軸担当副主幹 山岡 健司
都市政策課主査 吉村 千尋、都市政策課主事 松村 優里

公開又は非公開 公開

傍聴者 10名

議事次第

- 1 開会
- 2 津市長挨拶
- 3 委員自己紹介
- 4 議題
 - (1) 委員長・副委員長選出
 - (2) 委員長・副委員長挨拶
 - (3) 今後の進め方等について
 - ア 未来ビジョン策定に向けての進め方について
 - イ 大門・丸之内地区の現状分析・課題について
 - ウ 分科会での検討テーマについて
 - (4) 大門・丸之内地区への思いについて
- 5 その他連絡事項
- 6 閉会

議事概要

1 開会

2 津市長挨拶

3 委員自己紹介

4 議題

(1) 委員長・副委員長選出

- ・委員長に株式会社まちづくり津夢時風代表取締役社長 辻 正敏委員が、副委員長に株式会社津センターパレス常務取締役 草深 泰幸委員が選出された。

(2) 委員長・副委員長挨拶

(3) 今後の進め方等について

- ア 未来ビジョン策定に向けての進め方について
 - ・事務局より説明（資料1）
- イ 大門・丸之内地区の現状分析・課題について
 - ・事務局より説明（資料2）
- ウ 分科会での検討テーマについて
 - ・事務局より分科会での検討テーマを提案（資料3）
 - ・「にぎわいの創出や商業発展、地域資源の有効活用など、地域の強みを活かす観点」、「道路再編や ICT の活用、未来の都市を考える場づくりなど、これまでの枠にとらわれない柔軟な観点」、「土地・建物の集約化や建築物の建替え・快適な居住空間の創出など、将来的な都市計画の観点」の3つの観点を分科会の検討テーマとすることが承認された。
 - ・各分科会ごとの構成員は、委員長及び副委員長と相談後、各委員及び分科会員に案を示した後、決定することが承認された。

(4) 大門・丸之内地区への思いについて

未来ビジョンづくりを進めるに当たり、委員より大門・丸之内地区への思いや、都市づくりに対する思いについて発言いただいた。主な発言は以下のとおり。

- ・四十数年前は、現在より賑わいもあり、楽しく過ごしていたというイメージがあり、楽しいまちといった将来像を描けたらと良いと思う。
- ・様々な場所でアイデアを探す、見つけるという意識を持って取り組みたい。
- ・今地区に集まっているのは、高齢者でウォーキングをされている方が多い。健康も含めてプラスアルファの価値があると良い。
- ・子ども、若者、年寄のそれぞれにとって魅力がある場所になれば良い。
- ・丸之内商店街では若い人で丸之内サロンを立ち上げ、将来のビジョンについて話し合いが行われており、丸之内商店街としては高齢者に向けて、健康と文化といった視点で取組を進めており、防犯カメラの設置等、安心して歩ける環境づくりやイベント開催に取り組んでいる。
- ・丸之内商店街のアーケード街の店舗が閉まっていることが一番ネックである。
- ・未来ビジョンづくりにあたって自分たちのことなのでしっかりと考えていきたいという意気込みである。
- ・大門・丸之内地区と津駅前など2つ場所を選んで競争をした方が良いと思う。
- ・未来ビジョンを策定する際に、安心や安全ということが根本的になければならないと思う。
- ・当地区は津波が来たら高台に1時間かけて逃げなければならないといったことも考慮すべきだと思う。
- ・子どもや若者が集まるわくわく感がある場所にしたい。
- ・広場や文化施設の活用から始めてはどうか。
- ・Uターンとして津に帰ってきたが、昔と様子が違っていた。子どもたちが遊べる場所にしたい、また、人が集まるまちづくりをしたいと思う。
- ・未来に向けて明るく、この地区が元気になれるようなまちづくりに貢献できればと思う。
- ・未来ビジョンでは、長期は10年から20年程度を想定ということなので、若者世代が中心となってまちを背負っていければという思いがある。

- ・ Uターンで津市に戻ってきた際に、子どもの頃には気づかなかった地域の魅力に気づいたが、今の子どもたちもそういった魅力に気づかず、市外に出て行ってしまっているように思う。子どもたちには、市外へ出て行く前にそういった魅力を知って欲しいと思う。
- ・ 様々な関係者が様々な意見を持っている中で、それを全て1つにし、抽象的な形でまとめてしまうのでは無く、何かを捨てるという覚悟を持って、未来ビジョンに対し意見したい。
- ・ 皆さんのお話を聞いて、皆、思いは一緒だと感じた。
- ・ これからの課題として、公園などで何か楽しめる場所を考えられることが必要と言ってくれたことが嬉しく思う。
- ・ 昔は商売のまちだったが、お店に魅力を持たせてまちを活性化させるのは難しくなっている。
- ・ 今、商店街で取り組んでいる、ウォーキングイベントのように、公園でイベントやスポーツをできるようにしたいと思っている。このような、お店以外の魅力づくりを行い、それがお店に賑わいに繋がればと思う。
- ・ 何かやろうという機運は盛り上がってきているので、ぜひ何かやっていきたいと思う。
- ・ 全国的に人口減少や高齢化、中心市街地の低未利用地化が課題となっており、津市では、立地適正化計画といった都市機能を集約していくという計画を策定されている。この計画を策定されていると、まちなかウォークブル推進事業のような制度や国の支援メニューを活用することができる。このような制度を活用しながらコンパクトで賑わいのあるまちづくりに期待している。
- ・ 津駅前と連携したまちづくりとして津市全体のまちづくりになるように期待したいと思っている。

5 その他連絡事項

- ・ 分科会員の推薦手続きについて確認
- ・ 第1回目の分科会については、7月に開催を予定

6 閉会